

資料編

○上越市人にやさしいまちづくり条例

平成11年3月24日

条例第1号

改正 平成15年9月30日条例第35号

平成19年9月30日条例第11号

平成21年3月27日条例第12号

目次

前文

第1章 総則（第1条—第5条）

第2章 基本方針等（第6条—第15条）

第3章 施設等の整備（第16条—第19条）

第4章 推進会議（第20条—第23条）

附則

人間としての尊厳を保ちながら、自らの意思で行動し、住み慣れた地域で安心して生活することができる社会の実現は、私たちすべての市民の願いである。

こうした社会を実現するためには、男性も女性も、老いも若きも、障害のある人もない人も、ともに支え合い助け合いながら、意識上の障壁を含め、あらゆる障壁のないまちづくりに取り組んでいかなければならない。

上越市は、四季折々の美しい自然に抱かれ、薫り高い文化と、こまやかな人の心を育んできた。このかけがえのない風土を礎に、私たちは、すべての人にやさしいまちづくりを進めることを固く決意し、この条例を制定する。

第1章 総則

（目的）

第1条 この条例は、市、事業者及び市民が一体となって人にやさしいまちづくりを推進することにより、高齢者、障害者等をはじめとするすべての市民の基本的人権が尊重され、社会参加の機会が確保された豊かで住みよい地域社会の形成の促進に寄与することを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 人にやさしいまちづくり 高齢者、障害者等をはじめとするすべての市民が安全かつ快適に生活できるよう、あらゆる障壁のない社会環境の整備を図ることをいう。
- (2) 高齢者、障害者等 高齢者、障害者、子供、妊産婦その他の者で、日常生活及び社会生活を営む上で何らかの配慮を必要とするものをいう。
- (3) 施設等 施設（設備を含む。以下同じ。）及び公共車両等をいう。
- (4) 公共車両等 一般旅客の用に供する鉄道の車両、自動車、船舶等をいう。

（市の責務）

第3条 市は、人にやさしいまちづくりに関する基本的かつ総合的な施策を策定し、及び実施しなければならない。

- 2 市は、人にやさしいまちづくりを総合的かつ効果的に推進するため、市、事業者及び市民が相互に連携を図ることができるように必要な措置を講ずるものとする。
- 3 市は、事業者及び市民が行う人にやさしいまちづくりに関する活動を支援するように努めなければならない。

（事業者の責務）

第4条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、人にやさしいまちづくりに努めなければならない。

- 2 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、高齢者、障害者等が円滑に施設等を利用し、又はサービスの提供を受けることを妨げてはならない。
- 3 事業者は、市が実施する人にやさしいまちづくりに関する施策に協力するものとする。

（市民の責務）

第5条 市民は、人にやさしいまちづくりについての理解を深め、自らそれに努めなければならない。

- 2 市民は、高齢者、障害者等が円滑に施設等を利用し、又はサービスの提供を受けることを妨げてはならない。
- 3 市民は、市が実施する人にやさしいまちづくりに関する施策に協力するものとする。

第2章 基本方針等

（施策の策定等に係る指針）

第6条 市は、次に掲げる事項を基本として、人にやさしいまちづくりに関する施策を

策定し、及び実施しなければならない。

- (1) 事業者及び市民が人にやさしいまちづくりについての理解を深め、積極的にこれを推進しようとする意識の高揚を図ること。
- (2) すべての市民が安全かつ快適な生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に平等に参加できるような社会環境の整備を図ること。

(推進計画の策定)

第7条 市長は、人にやさしいまちづくりに関する施策を総合的に推進するための計画（以下「推進計画」という。）を策定しなければならない。

- 2 市長は、推進計画を策定するときは、あらかじめ上越市人にやさしいまちづくり推進会議の意見を聴かななければならない。

(広報活動の充実等)

第8条 市は、人にやさしいまちづくりについて事業者及び市民が理解を深め、自発的に活動することを促進するため、人にやさしいまちづくりに関する広報活動を充実させるとともに、教育及び学習の振興に必要な施策を推進しなければならない。

(教育環境の整備)

第9条 市は、高齢者、障害者等の学習の機会の確保を図るため、高齢者、障害者等に配慮した教育環境の整備に必要な施策を推進しなければならない。

(就業の機会の確保等)

第10条 市は、高齢者、障害者等（子供を除く。以下この条において同じ。）の就業の機会が確保され、及び高齢者、障害者等に配慮した職場環境が整備されるように、事業者に対し必要な要請を行うものとする。

- 2 事業者は、高齢者、障害者等の就業の機会の確保及びその雇用する高齢者、障害者等に配慮した職場環境の整備に努めなければならない。

(保健・医療・福祉に関するサービスの効果的な提供)

第11条 市は、高齢者、障害者等が住み慣れた地域において安心して日常生活を営むために必要な保健・医療・福祉に関するサービスが効果的に提供されるように必要な施策を推進しなければならない。

(ボランティア活動の促進)

第12条 市は、事業者及び市民並びに特定非営利活動法人が高齢者、障害者等の福祉に関するボランティア活動を実践できるように必要な施策を推進しなければならない。

い。

(防災上の配慮等)

第13条 市は、防災、除雪等に関し、高齢者、障害者等に配慮した情報の提供、避難のための施設等の確保等に必要な施策を推進しなければならない。

(重点推進地域の指定)

第14条 市長は、人にやさしいまちづくりを推進することが特に必要と認められる地域を期間を定めて重点推進地域として指定することができる。

2 市長は、重点推進地域を指定するときは、あらかじめ上越市人にやさしいまちづくり推進会議の意見を聴かななければならない。

(報告等)

第15条 市長は、この条例に基づいて実施した施策について、毎年、上越市人にやさしいまちづくり推進会議に報告し、及び市民に公表しなければならない。

第3章 施設等の整備

(市の施設の整備)

第16条 市は、その所有し、又は管理する施設について、高齢者、障害者等が安全かつ快適に利用できるように配慮し、及び整備を進めるように努めなければならない。

2 市は、市の施設の新設、増設及び改修をしようとするときは、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 新潟県福祉のまちづくり条例（平成8年新潟県条例第9号）第10条の規定に基づき策定された基準

(2) 推進計画に基づき市長が策定する公共建築物ユニバーサルデザイン指針

3 市長は、市の施設の新設、増設及び改修をしようとするときは、必要に応じて上越市人にやさしいまちづくり推進会議の意見を聴くものとする。

(事業者の施設の整備)

第17条 事業者は、施設の新設、増設及び改修をしようとするときは、高齢者、障害者等の安全かつ快適な利用に配慮するように努めなければならない。

2 事業者は、その所有し、又は管理する施設について、災害時に高齢者、障害者等が円滑に避難できるように必要な措置を講ずるように努めなければならない。

(住宅の整備等)

第18条 市民は、住宅の新築、増築及び改修をしようとするときは、高齢者、障害者

等の安全かつ快適な生活に配慮するように努めなければならない。

2 住宅を供給する事業者は、高齢者、障害者等の安全かつ快適な生活に配慮した住宅を供給するように努めなければならない。

3 市は、高齢者、障害者等の居住環境を改善するため、必要な施策を推進しなければならない。

(公共車両等の整備等)

第19条 公共車両等を所有し、管理し、又は運行する者は、当該公共車両等について、高齢者、障害者等の安全かつ快適な利用が図られるように努めなければならない。

2 市は、高齢者、障害者等の安全かつ快適な交通機関の利用が図られるように必要な施策を推進しなければならない。

第4章 推進会議

(設置)

第20条 人にやさしいまちづくりの推進に関する基本的事項及び重要事項を調査審議するため、上越市人にやさしいまちづくり推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

2 推進会議は、市長の諮問に応じ調査審議するほか、人にやさしいまちづくりの推進に関し市長に意見を述べることができる。

(組織)

第21条 推進会議は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する15人以内の委員をもって組織する。

- (1) 高齢者、障害者等
- (2) 事業者
- (3) 学識経験者
- (4) 関係行政機関の職員
- (5) 公募に応じた市民
- (6) その他市長が必要と認める者

(委員の任期)

第22条 推進会議の委員の任期は、2年とし、再任は妨げない。ただし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第23条 前3条に定めるもののほか、推進会議に関し必要な事項は、市長が規則で定める。

附 則

この条例は、平成11年7月1日から施行する。

附 則（平成15年条例第35号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年条例第11号）

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年条例第12号）抄
（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

上越市人にやさしいまちづくりに関する 市民意識調査結果報告書

令和 2 年 11 月調査

共生まちづくり課

上越市人にやさしいまちづくりに関する市民意識調査結果

■ 調査の概要

1 調査の目的

第4次人にやさしいまちづくり推進計画の評価指標の達成状況を確認し、今後の施策の方向性を検証する。

2 調査の方法等（比較前回調査実施年度：平成27年度）

(1) 調査地域

上越市全域

(2) 調査対象

上越市内に在住する満18歳以上の男女4,000人

【前回：上越市内に在住する満20歳以上の男女4,000人】

(3) 抽出方法

令和2年10月1日現在の住民基本台帳から28の地域自治区別、男女別、年齢階層別（10・20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の6階層）の人口割合に応じて無作為抽出

(4) 調査方法

調査用紙を郵送で配付し、郵送又はオンラインで回答

【前回：郵送のみ】

(5) 調査期間

令和2年10月28日～11月25日

【前回：平成28年3月11日～3月28日】

3 回収状況

回収数 1,407（うち、オンライン291 …20.68%） 有効回答率 35.2%

【前回：回収数1,798、有効回答率45%】

4 回答者の内訳

地域	性別	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
13区	男	19人	12人	33人	29人	60人	73人	226人
		1.4%	0.9%	2.3%	2.1%	4.3%	5.2%	16.1%
	女	18人	15人	31人	35人	77人	97人	273人
		1.3%	1.1%	2.2%	2.5%	5.5%	6.9%	19.4%
合併前 上越	男	51人	45人	61人	56人	66人	120人	399人
		3.6%	3.2%	4.3%	4.0%	4.7%	8.5%	28.4%
	女	46人	51人	85人	75人	87人	165人	509人
		3.3%	3.6%	6.0%	5.3%	6.2%	11.7%	36.2%
	男	70人	57人	94人	85人	126人	193人	625人
		5.0%	4.1%	6.7%	6.0%	9.0%	13.7%	44.4%
	女	64人	66人	116人	110人	164人	262人	782人
		4.5%	4.7%	8.2%	7.8%	11.7%	18.6%	55.6%
	計	134人	123人	210人	195人	290人	455人	1,407人
		9.5%	8.7%	14.9%	13.9%	20.6%	32.3%	100.0%

5 調査結果の注意事項

- ・調査結果の数値を割合「%」で表示した場合の母数を図表では「n」と表示している。
「n」の表示がない場合の母数は、本調査の有効回答数 1,407 である。
- ・回答の比率 (%) は小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表示している。したがって、比率の合計は必ずしも 100%ではない場合 (99.9%又は 100.1% など) がある。

6 調査結果

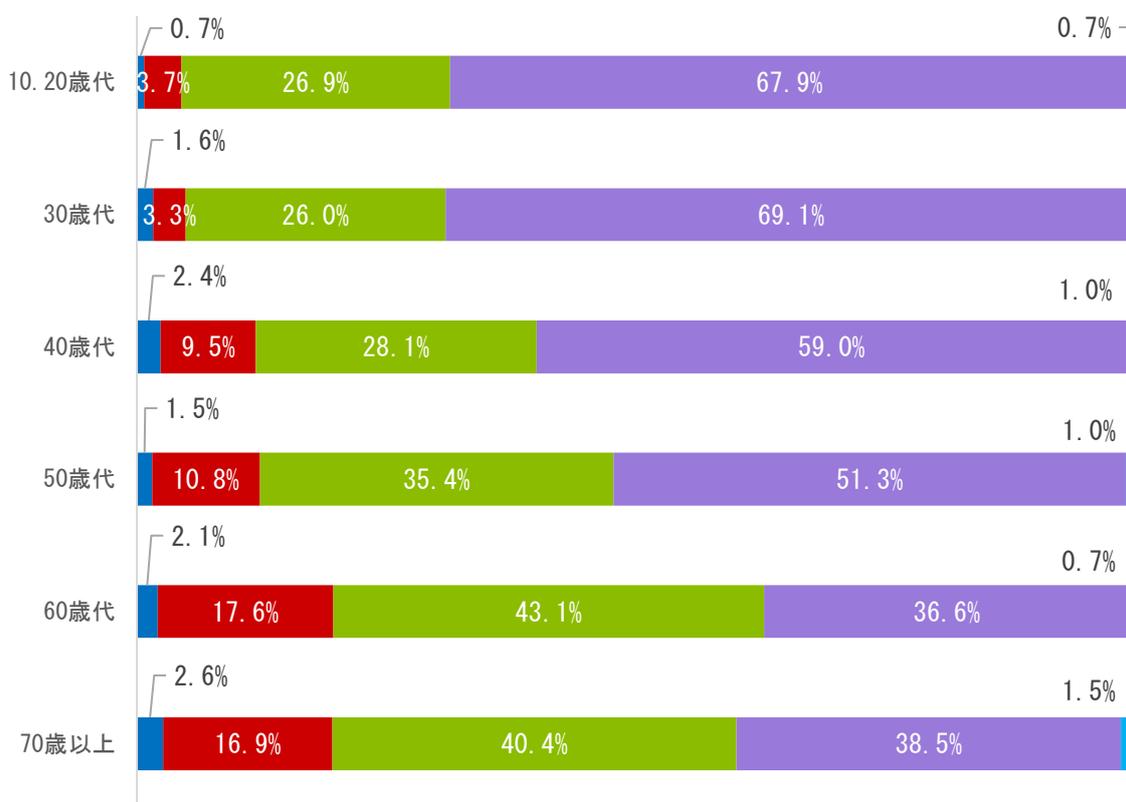
問1 市では、平成11年3月に「上越市人にやさしいまちづくり条例」を制定し、誰もが安全・安心で快適に暮らせるまちづくり（人にやさしいまちづくり）に取り組んでいます。あなたは、このことを知っていますか。

- 知っている。内容も理解している
- 知っている。内容も少し理解している
- 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 全く知らない
- 未回答

●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「知っている。内容も理解している」、「知っている。内容も少し理解している」と答えた人は合わせて14.8%であった。
- ・年代が若くなるにつれて認知度が低くなっている。

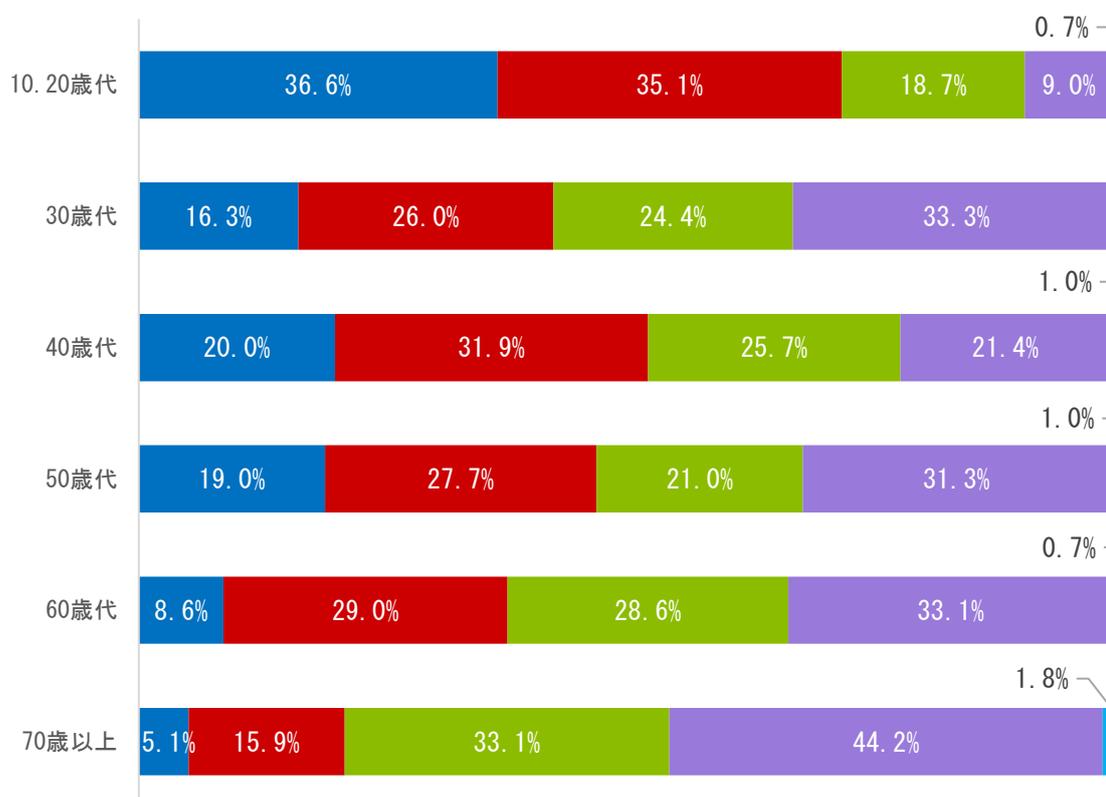
問2 あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。

- 知っている。内容も理解している
- 知っている。内容も少し理解している
- 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 全く知らない
- 未回答

●全体



●年代別比較

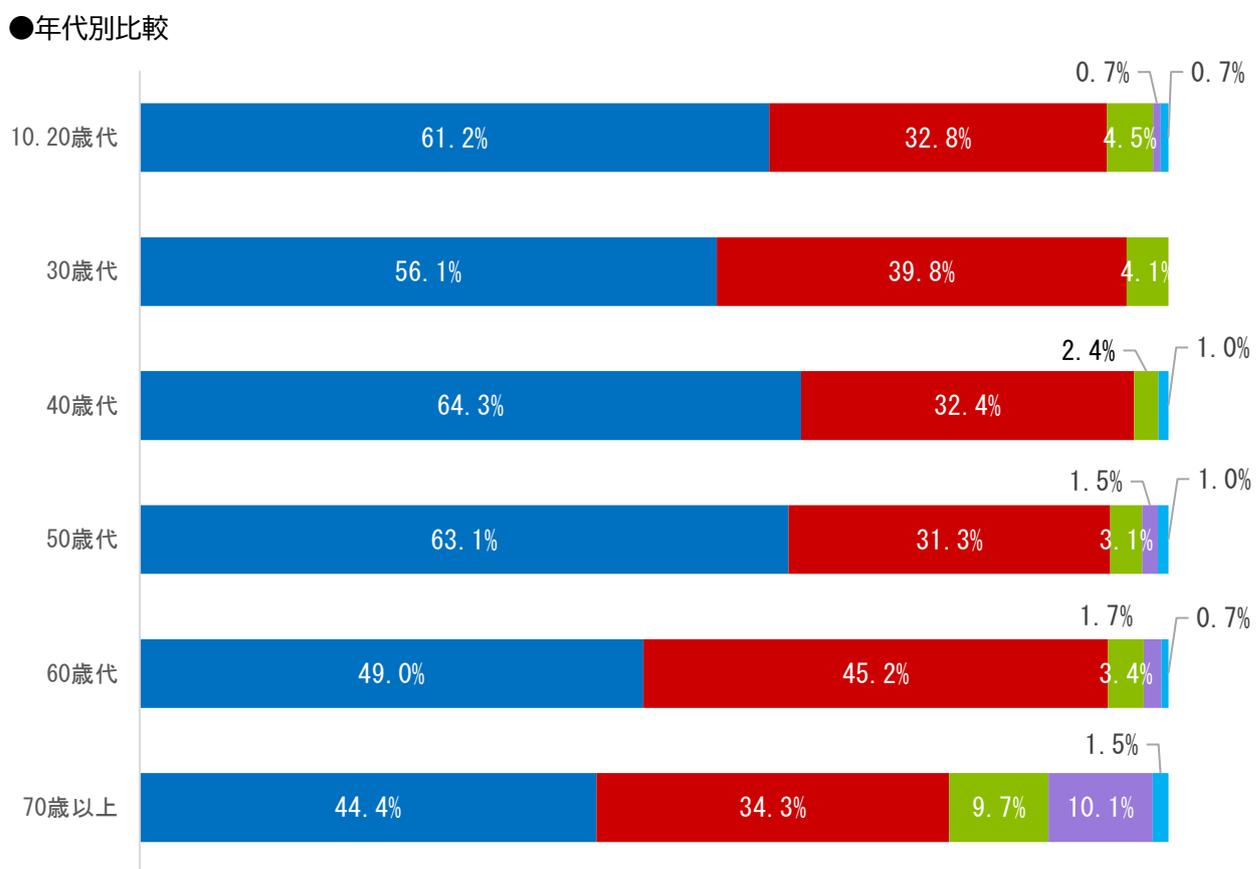


【結果】

- ・「知っている。内容も理解している」、「知っている。内容も少し理解している」と答えた人は合わせて39.3%であった。
- ・「知っている。内容も理解している」、「知っている。内容も少し理解している」と答えた人の年代別での割合は、10.20歳代で約7割、30歳代から50歳代で5割前後の一方、60歳代で37.6%、70歳以上で21.0%となっており、若い世代で認知度が高い結果となっている。

問3 あなたは、「バリアフリー」という言葉を知っていますか。

- 知っている。内容も理解している
- 知っている。内容も少し理解している
- 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 全く知らない
- 未回答



【結果】

- ・「知っている。内容も理解している」、「知っている。内容も少し理解している」と答えた人が合わせて 89.7%であった。
- ・「知っている。内容も理解している」、「知っている。内容も少し理解している」と答えた人の年代別での割合は、70歳以上を除く全ての年代で、言葉と内容の認知度が9割以上に達している。

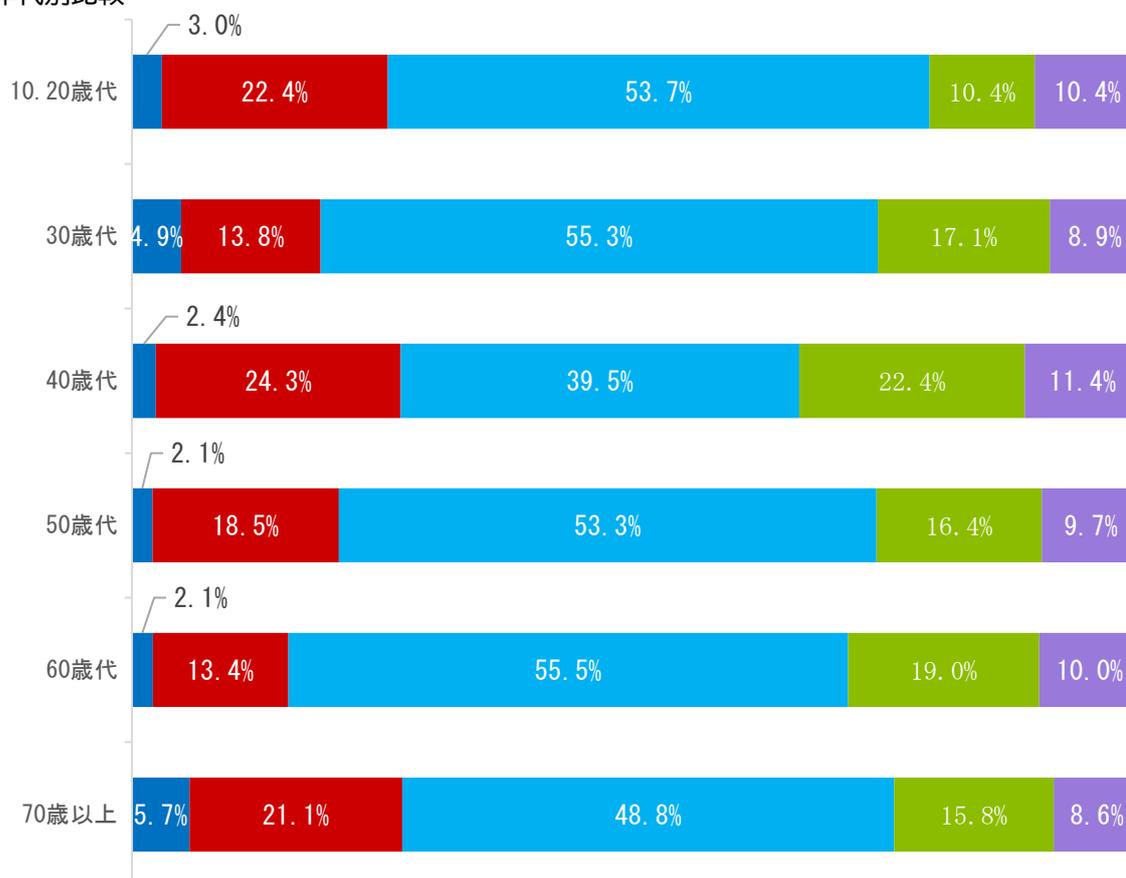
問4 あなたは、高齢者、障害のある人等が学校教育や社会教育など、学べる環境が整っているとと思いますか。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- わからない・どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は合わせて 22.7%であった。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は、前回に比べ 9.4 ポイント減少したが、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と答えた人も 36.6 ポイント減少した。

⇒「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方は、どのようなところがそう思いますか。(回答数：244件)

【主な意見】

- 公立の学校や教育施設、社会福祉施設が整備され、市の出前講座や公民館事業などが充実している。
- 発達障害などの子供を、保育園から就学後まで、情報の共有ができているので、継続してみてもらえていると思う。
- 春日山荘、ワークパル、地域サロン等で学びまた健康寿命を延ばせる場所があることは本当に貴重なことであると思う。
- 総合事務所、及び公民館で行っている情報を広報等で知らせている。
- 自分が今まで住んできた都市と比べて選択肢がたくさんある。
- 公共施設はバリアフリー化を進めており、環境整備がなされている。

⇒「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方は、どうすればよくなるとお思いますか。(回答数：265件)

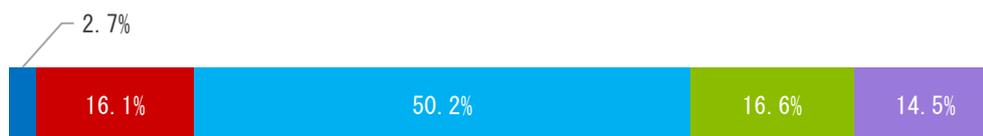
【主な意見】

- 学べる環境があるのかどうか分からない。あったとしたら広く市民に知らしめ、気軽に利用できる環境にしてほしい。
- 障害のある人が社会教育を学べる場は、ほとんどない。また、障害（特に知的障害）のある人が、高等部を卒業した後に学べるような場がほとんどない。そのような場を作ってはほしい。
- 私は別の町から移住したが、この街の若い人たち(友達も含む)は障害者や高齢者への配慮が欠けていると思った。私のもと住んでいた街では高齢者が多く、小学生の頃から地域との関わりが深い行事も多かったからか、偏見や差別は少なかった。教育機関での道徳の授業などで関心を得る機会を増やすべきだ。
- 地域によって格差があると思う。居住している区の総合事務所2階は全く活用されていない。ぜひとも、公共施設を活用してほしい。
- 教育の場や環境があっても、公共交通機関や公的移動手段を充実させないと利用し難い。
- 使用しなくなった公共施設等を使って、学べる場所を増やして環境を作る。
- 学校等、エレベーターがないので高齢者や障害者が利用できない。エレベーターの増設を期待する。
- 教育する側のスキルをあげたり、学べる機会を増やす。
- 高齢者や障害者の目線にたち、実際に意見や要望を聞く。
- 他でうまくいっている所の話や内容を調査したり、当事者にヒアリングする。

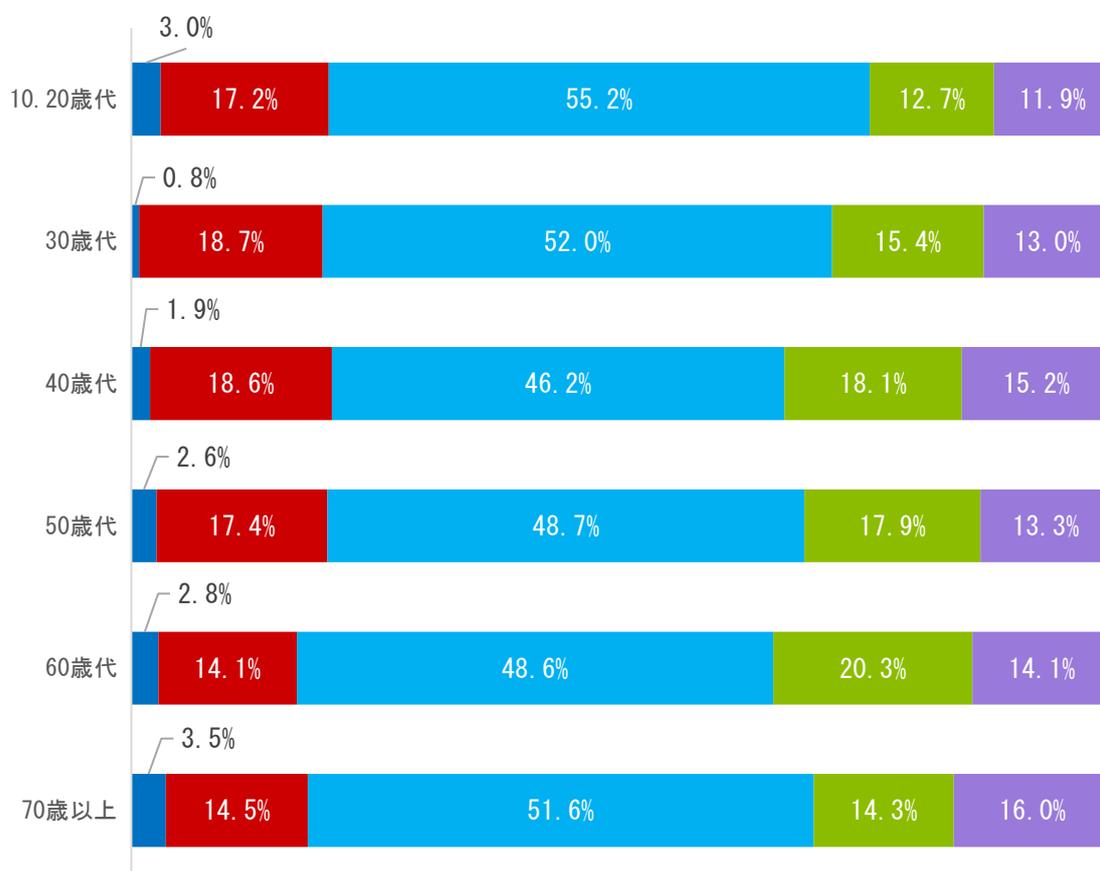
問5 あなたは、高齢者、障害のある人等が働ける環境が整っていると思いますか。



●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は合わせて18.8%であった。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は、前回に比べ3.6ポイント減少したが、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と答えた人も43.8ポイント減少した。
- ・年代別では、大きな差は見られなかった。

⇒「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方は、どのようなところがそう思いますか。(回答数：204件)

【主な意見】

- 障害者の就労を支援する相談機関などがあり、企業と障害者をつなぐサポートをしてくれるため。
- 受け入れている企業が増えていると思う。
- 障害者施設で作られたパン、クッキー、コロツケなどを買う。おいしいので良い環境で作っているのだと思う。
- 規模の大きい工場等は障害者が働いていると聞いている。高齢者も定年延長やパート、又はシルバー人材センターなどで働ける場所があると思う。
- 国県市の制度も整ってきており、以前より多くの方が社会で活動していることが分かる。
- 庭先集荷は高齢者に非常に活力を与えていると思う。継続強化を図っていただきたい。

⇒「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方は、どうすればよくなるとお思いますか。(回答数：299件)

【主な意見】

- 特に障害者の働ける環境が整っていないと感じる。事業所と障害者のマッチングを図る体制が整っていれば、お互いのプラスになることもあるのではないかと思う。
- 障害の程度に合った職場を紹介してほしい。フルタイムでなく短時間でも受け入れてくれる職場。
- 障害者に対する理解を深めてもらうための講習を企業に受けさせる。
- 市内のどのような会社で働けるかの情報がない。高齢者や障害者の経験を活かした人材を広く募る方法を考えてはどうか。
- もっと各企業が積極的に障害者雇用できるように、企業へのバックアップ（特性を活かせる仕事の洗い出しやジョブコーチの増員、補助金制度など）体制がより整うと良い。
- 採用する企業にインセンティブがあれば良いと思う。
- 高齢者や障害のある人を雇用するには、それなりの設備を会社に備えなければいけないと思う。トイレや休憩所などリフォーム補助も大切。
- 就労にかかわる生活の支援も福祉サービスに組み入れるべきである。
- 働ける職場が近くに無いので、県外や他市町村から会社のあっせんやスーパーマーケットなどを作るなど働ける環境をまず作り出す。
- 家で働ける業種が少ない。オンラインで働ける環境づくりが必要であると思う。

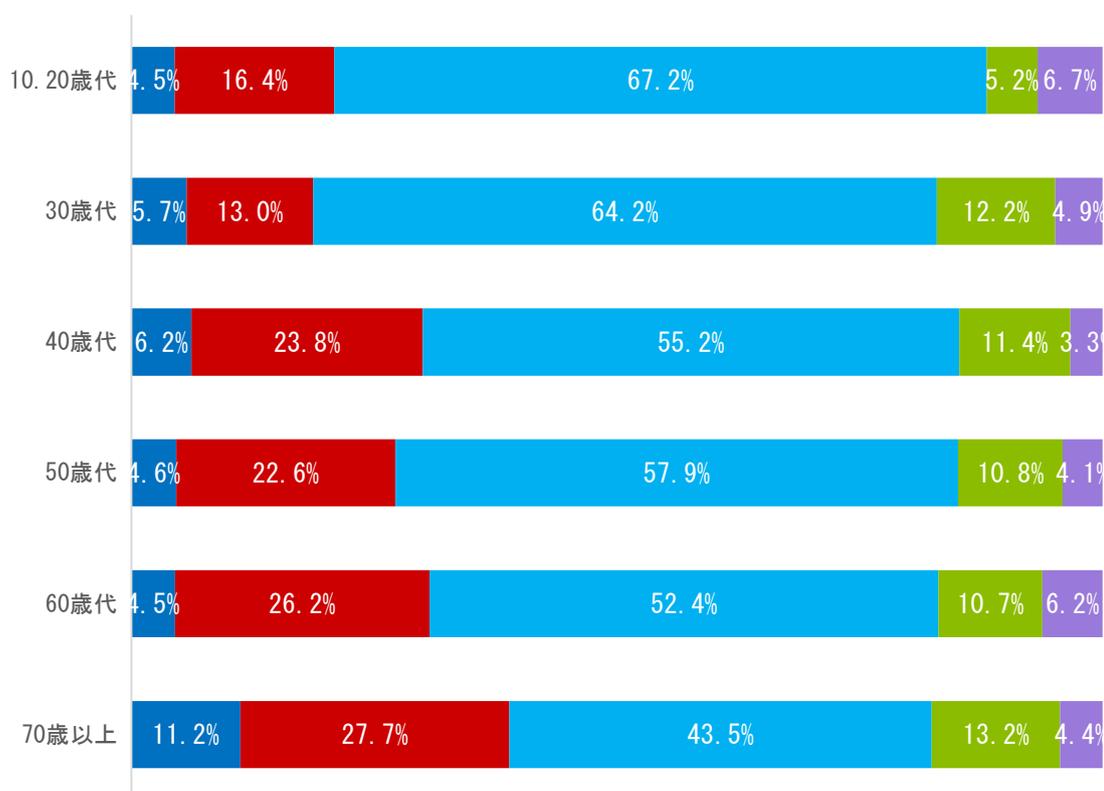
問6 あなたは、福祉に関するサービスが整っていると思いますか。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- わからない・どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は合わせて 30.7%であった。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は、前回に比べ 31.9 ポイント減少したが、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と答えた人も 17.5 ポイント減少した。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人の年代別の割合では、年代が上がるにつれて、高くなる傾向となった。

⇒「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方は、どのようなところがそう思いますか。(回答数：281件)

【主な意見】

- 20年前に比べたら、今は色々と利用できるようになり、サービスも増え、便利になったと思う。
- 社会福祉協議会、まちづくり振興会、特別養護老人ホーム、診療所が区内にあり、それぞれの分野で住民の手助け、力になっていると思う。
- 近隣の高齢者や一人暮らしの方がサービスを利用され、予防事業が行われていると感じる。
- 20年前に比べたら、今は色々と利用できるようになり、サービスも増え、便利になったと思う。
- 町内の民生委員さんの活動などを聞かたびに、「ご苦労様」と声をかけてあげたいと思う。また、スーパーや商店などでも、少しずつではあるが、配慮されている点がみられるようでうれしい。
- オーレンプラザみたいに子供が遊べる場所があつていい。

⇒「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方は、どうすればよくなると思いますか。(回答数：138件)

【主な意見】

- サービスに関わる情報を皆さんが分かるように、もっとチラシや宣伝が必要だと思う。
- 本当に必要としている人がサービスを理解し、申請することが難しすぎる。複雑さと手続きの時間がもう少し楽になるとよい。
- 高齢者の方で入所待ちの人が多くおられるようだ。老人施設不足を考えて欲しいと思う。
- 施設は多いが、働き手が少なく、無資格者が増えることで質が落ちる。在宅で暮らせるような取組が多い方が良くと思う。
- 運転できる人はいいが、買い物したり、用を足したりする事に不便を感じている人は多いと思う。できる人ができない人を助けられるように行政で対価を決めてくれたら良いと思う。資格がないとできないではなく「ちょっとネコの手」がほしい時がこれから多くなると思う。
- 施設に入るのに高額で入れない。食費の補助がほしい。
- 福祉従事者の報酬を引き上げて事業者を増やしたり人員を増員したりしてほしい。
- デイサービス等は充実しつつあると思われる。今後、障害者の1人暮らしも増えてくると思われ、それらの対応。

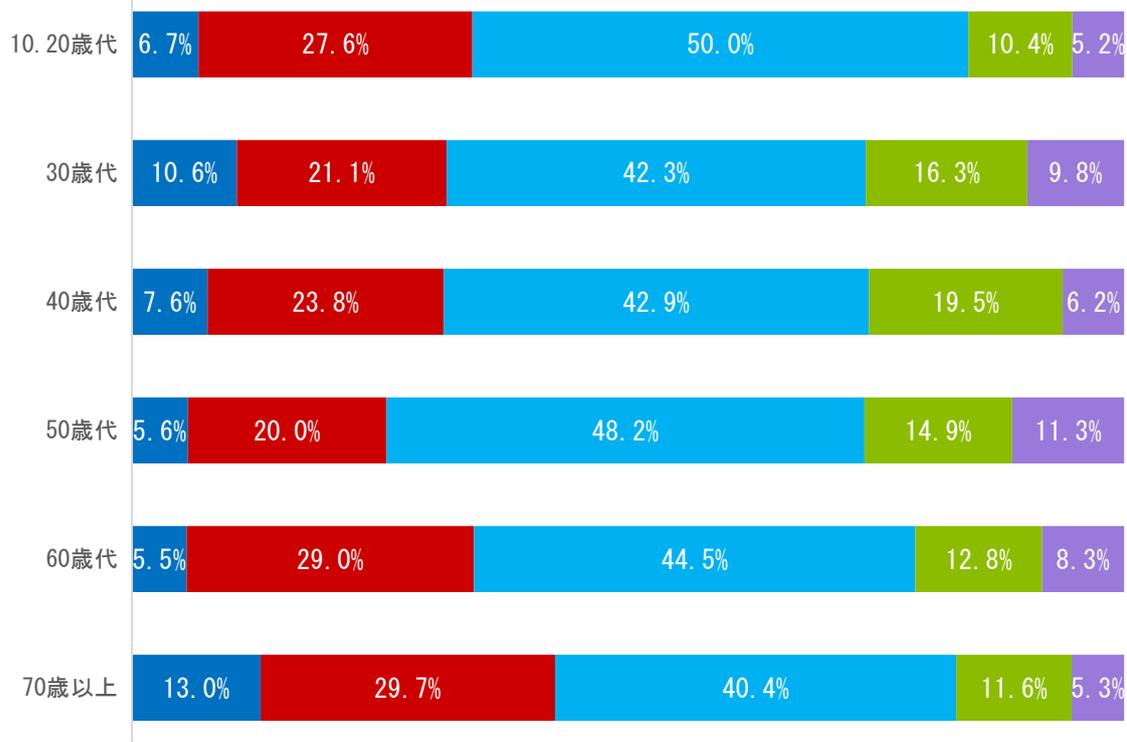
問7 あなたは、医療に関するサービスが整っていると思いますか。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- わからない・どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- 思わない

●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は合わせて 35.2%であった。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は、前回に比べ 24.9 ポイント減少したが、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と答えた人も 15.3 ポイント減少した。

⇒「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方は、どのようなところがそう思いますか。(回答数：347件)

【主な意見】

- 未就学児の医療費無料などは助かる。
- 妊産婦や子供への医療費のサポートがあるから。
- 健診、人間ドックも実施されていて、結果説明会もあり、広報での案内も含め整っていると思う。
- 年末に休日診療所を利用したが、助かった。年齢の節目に健診のクーポンを貰うと受診しようという気持ちになる。
- 1次、2次、3次、開業医など全ての段階の医療が程良く地区にある。
- 急性期、回復期、生活期の病院が市内にあり、訪問看護ステーションも複数個所の事業所がある。
- 中山間地域において、診療所があるということは心強いです。住民のことを考え、それぞれ対処している。

⇒「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方は、どうすればよくなるとお思いますか。(回答数：212件)

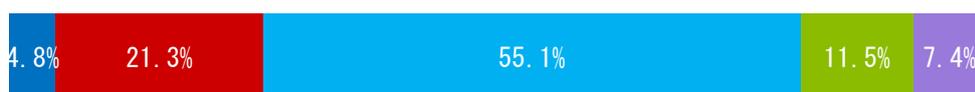
【主な意見】

- こどもの医療費免除。子供には何かとお金がかかるので、高校卒業まで医療費が無料になるとありがたい。
- 病院はあるが、通うことが難しいため、病院の送迎サービスがあつたらいい。または、往診のできる医者がもっとあつたらいいと思う。
- 病院やかかりつけの医者に行った場合、すぐ待たされ診察は短くという感じなので、あとのどのくらい待つかなど、連絡していただくとよいと思う。
- 医師不足による総合病院の機能が低下している。早急な医師の確保に市としても取り組んでほしい。
- 医療施設は、整っていると思うが、専門の医師を増やしてもらいたい。
- 休日、時間外に子供が体調を崩した時に、診てもらえるところがなく辛い思いをしたため、休日や夜間の診療を充実してもらえたらと思う。
- 歯科検診は市からはがきで行くきっかけができて良かった。40代からは体の不調が出るが多くなるので、歯科検診同様に人間ドックに行くきっかけを作って欲しい。
- どのようなサービスがあるのか分からない。ソーシャルワーカー等にもっと簡単に相談ができるとう良いのでは。

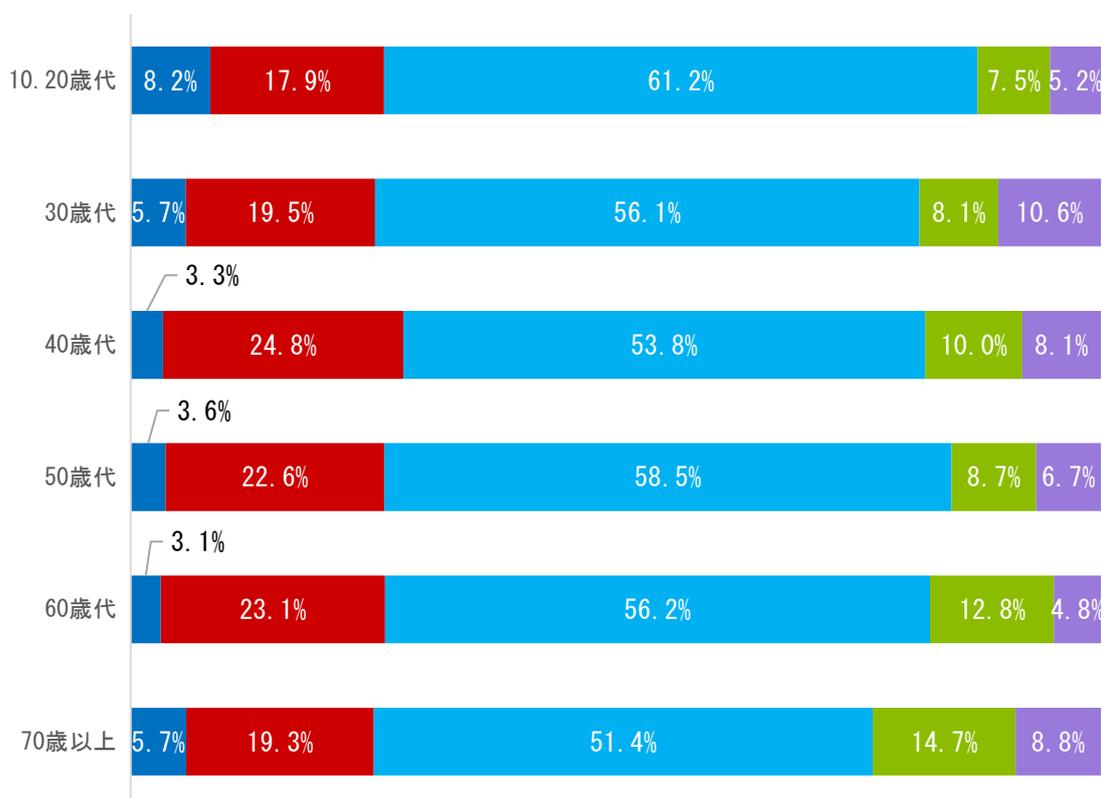
問8 市の施設は、高齢者、障害のある人等が安全で快適に利用できていると思いますか。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- わからない・どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は合わせて 26.1%であった。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は、前回に比べ 31.3 ポイント減少したが、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と答えた人も 19.9 ポイント減少した。
- ・年代別では、大きな差は見られなかった。

⇒「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方は、どのようなところがそう思いますか。(回答数：241件)

【主な意見】

- 施設が、順にユニバーサルデザインに変わっていている。そのため、介護者も介護しやすく利用する人が増えていると思う。
- 階段だけでなく、スロープも増えてきている。トイレも整備されるようになってきている。
- 施設通路や室内に段差が少なく、車椅子用のエレベーターなどが整っているため。
- 車いす用駐車スペースが多くある。案内表示が分かりやすい、困った時に案内してくれる人がいる。
- ハード的には不十分な施設もあるが、施設職員や一般の人が手助けする意識になっていると思う。
- 利用者の方の事を考えて働いている職員が多いと思う。

⇒「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方は、どうすればよくなるとお考えですか。(回答数：190件)

【主な意見】

- 最近開設した施設は設備が整っていると感じる。年数が経過した施設は利用者にアンケートをとるなどして意見を求め、自動ドアや授乳室の設置、こまめなメンテナンス等比較的着手できそうなことから行って欲しい。
- 市の施設がどこで利用できるのか分からない。一覧表があるといい。
- 市の施設は市街地に多く、移動が困難である。他人の手を借りないで済むよう小規模でも近間にほしい。
- 料金が安く、使用しやすい移動手段が増えるといいと思う。
- まずは施設管理者に当事者への配慮等のガイドラインを提示する。そして施設の段差、表示の見にくさ、老朽化等による使いにくさを一つ一つ解消する。
- 古い施設は段差があるし、階段が多く大変。トイレも洋式だが便座が冷たいものがあり、使いにくい。段差やトイレが改善すると良いと思う。
- 総合案内の方以外にせめて（月曜の午前中、金曜の午後とかに）市の施設の混雑状況を案内してくれる人がいればいいと思う。
- 施設があってもそれを利用してもらうにはボランティアの人数が足りていない。元気な高齢者の人たちをお願いしてなるべくたくさん利用すべき。
- ゲートボール場などがあるが、障害者が使える施設はあまりないと思う。一般の人と一緒にしない施設を作り、使ってもらえればよくなると思う。

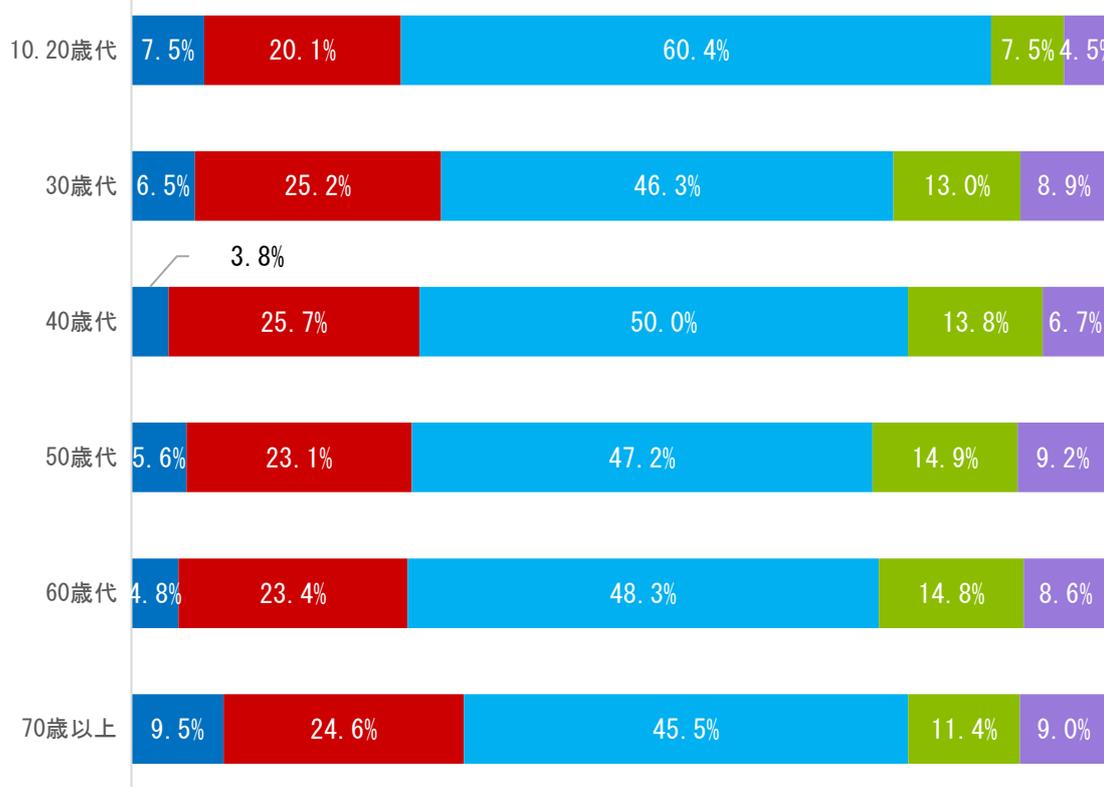
問9 民間の施設（病院、社会福祉施設、商業施設など）は、高齢者、障害のある人等が安全で快適に利用できていると思いますか。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- わからない・どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は合わせて 30.7%であった。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は、前回に比べ 16.2 ポイント減少したが、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と答えた人も 27.7 ポイント減少した。
- ・年代別では、大きな差は見られなかった。

⇒「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方は、どのようなところがそう思いますか。(回答数：278件)

【主な意見】

- 10年程度前と比べると、至る箇所においてもバリアフリー仕様の意識が高まっているように思う。高齢者、障害のある方でなくても快適に感じる箇所も増えてきている。
- 階段ではなくスロープになっていたり、車いす利用者のエスコートをする店もある。
- 車いすが置いてあったり、スロープになっていたり手すりが付いているのを見る。
- 身障者用トイレはほぼ整備されている。貸出用の車いすがあるところも多くなっている。廊下なども広がってきているように思う。
- トイレは利用しやすい。休む場所も整っている。
- 駐車場でよく車いすマークのある駐車スペースが建物の正面や近くにあり、危険が少なくなるように工夫されていると感じる。

⇒「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方は、どうすればよくなると思いますか。(回答数：193件)

【主な意見】

- 車がないと行けないところにある場合がほとんどである。バスが出ていても、途中で乗り換えなければならずとても不便だと思う。送迎サービスや交通機関の整備が必要であると思う。
- 病院、商業施設など利用したくても行けないことが多い。バスも少ないし、とくに高齢者の足になるようなものがあればいいと思う。
- 第一に都会と比べるとそうした施設の数が少ない。市の中心部にはあるが面積的にはより広大な周辺部にはない。周辺部にそうした施設が造りにくいのであればもっと交通網で工夫する等の対策が必要と思う。
- 施設の駐車場には優先エリアが確保されているが、そこに対象外と思われる車が停まっていることが多い。市民に対する広報が必要と思う。
- 段差をなくす、車いすが通れる十分なスペース（通路やトイレ）を設ける。その施設で受けられるサービスの提示をする。
- 新しい建物はいいが、古い建物が多く廊下が狭かったり荷物が置かれ、引っ掛かりやすかったりする。通路の確保とトイレの整備をまず取り組んでほしい。
- エレベーター、トイレ、入り口、出口等の案内表示を分かりやすくする。
- 1人で利用できるようにヘルパーなど介助する人を配置する。その人も給料がもらえるようにすれば仕事となる。

問10 あなたの住宅は、高齢者、障害のある人等が安全で快適に生活できる住宅だと思いますか。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- わからない・どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は合わせて26.6%であった。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人の年代別の割合では、30歳代、70歳以上が他の年代より上回っていた。

⇒「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方は、どのようなところがそう思いますか。(回答数：268件)

【主な意見】

- 段差がほぼない。段差があるところには手すりが設置されている。
- 車椅子で移動できる広さを確保し、段差をなくした。
- 一階で生活が完結するようになっている。玄関上がったら階段以外の段差が無い。全館空調により部屋ごとの寒暖差が無い。
- 玄関迄にはスロープがあり、玄関の上りかまちの高さも低く、手すりがついている。浴室内、トイレ、階段にも手すりがあり、バリアフリーになっている。
- 高齢者がいたのでバリアフリーはもちろん、ユニバーサルデザインを取り入れ、家族が安全で快適に過ごせる冬温かく、夏涼しい家である。

⇒「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方は、どうすればよくなると思いますか。(回答数：522件)

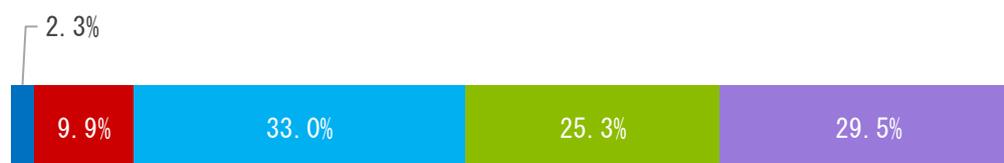
【主な意見】

- バリアフリー化が十分に出来ていない。段差の解消、必要な場所の手すりの設置等、対策が必要。
- リフォームをするか、ある程度の手を加えないと高齢者や障がいのある方には生活は快適ではないと思う。
- バリアフリーになっていない。今のところ、元気であるがいずれは改築をしなければならぬか、施設で生活するかどちらかである。
- 建物が古いのでバリアフリーではなく、手摺などの設置もしてないので、補助金や助成金をもっと簡単に使えれば良い。
- 公営の施設または公営住宅を高齢者、障害者用に用意する。
- 賃貸住宅ですが段差があったりするのでバリアフリーの賃貸住宅があっても良いのかなと思う。

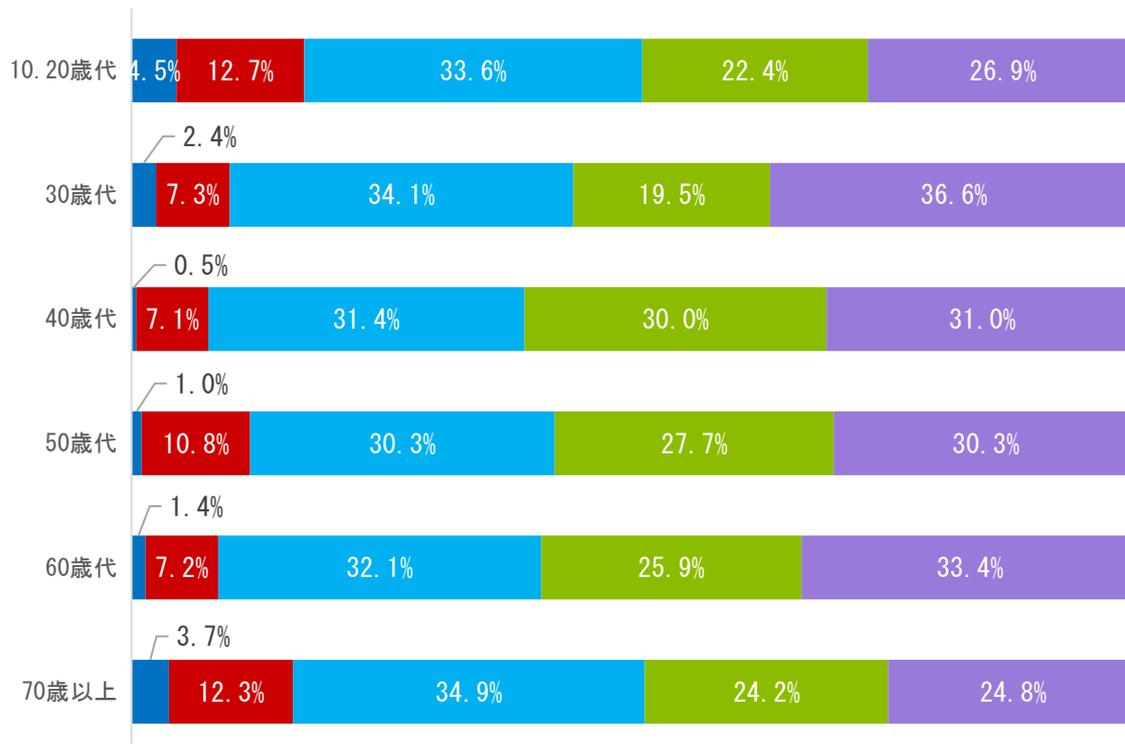
問11 歩道や道路は、高齢者、障害のある人等が安全で快適に利用できていると思いますか。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- わからない・どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は合わせて12.2%であった。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は、前回に比べ16.3ポイント減少したが、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と答えた人も15.5ポイント減少した。

⇒「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方は、どのようなところがそう思いますか。(回答数：107件)

【主な意見】

- 段差があまりないように整備されていたり、歩道もほとんどの道路にある。点字ブロックのある場所も多いため、安全で快適に利用できると思う。
- 大都市に比べて、ゆったりと幅の余裕がある道になっていると思う。
- 我々高齢者が困らないように信号機のある横断歩道がたくさんあり、また、信号の色の変わる時間が少しゆとりがあるので、横断歩道も渡りやすい。
- 高田商店は雁木の幅が広く、雨天でも気にしないで行動ができる。
- 歩道がある道路は安心して歩くことができる。冬には、歩道の除雪もしてあるので歩きやすい。
- 児童の歩道確保にグリーンラインが施工されたことで、歩行者の安全に気を付ける行動に繋がっていると思う。

⇒「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方は、どうすればよくなるとお思いますか。(回答数：560件)

【主な意見】

- 歩道が狭いところが非常に多いので、歩道の整備と冬季の歩道の除雪を充実させるとよくなると思う。
- 歩道が無いところが多くある。道路を広げ歩道を作って欲しい。子供も危ない。
- 点字ブロックや歩行者専用レーン等を増やしていけばいいと思う。
- 少しの段差やくぼみだけでも足を取られたり、転びやすいと思うので定期的に点検をしたり市民の情報を聞ける工夫が必要。
- 雁木に段差があり、夜は危険のため、子どもから注意されている。
- 住宅街の道は街灯が少なく暗いので、明るい街灯を増やすべきだと思う。
- 団地の中に道路交通が危険な場所がある。一時停止をしない所があるので、ミラーまたは、標識を付けて欲しい。
- 新しい道路等は良くなっているが、古い箇所はなかなか改修されないなので、利用状況を調査し、計画的な施工を検討する。
- 冬以外は安全と思うが、積雪があり、除雪されない時は歩道が埋没し、車道を歩かざるを得ぬ道路が沢山できる。小中学生の通学道路でもそうであり、改善が必要。
- 車両乗り入れの段差や歩道の道路のでこぼこが気になる。ワークショップやタウンウォッチングなどを（市民のやる気があれば市民参加型で）実施する。
- 買い物に行く道中、足が不自由なため、2回ほど休むが、イスなど休む場所が欲しい。

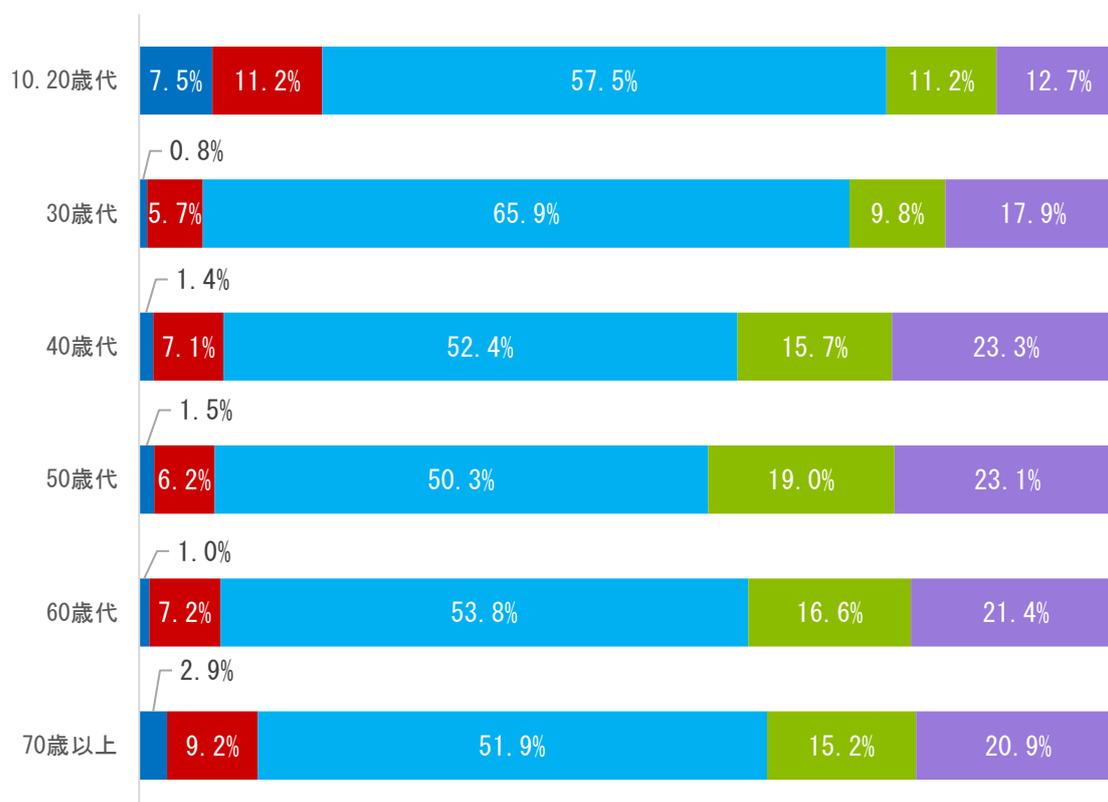
問12 鉄道や路線バスなどの公共交通機関は、高齢者、障害のある人等が安全で快適に利用できていると思いますか。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- わからない・どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は合わせて 10.3%であった。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は、前回に比べ 18.2 ポイント減少したが、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と答えた人も 33.8 ポイント減少した。
- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人の年代別の割合では、10.20歳代が他の年代より上回っていた。

⇒「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方は、どのようなところがそう思いますか。(回答数：100件)

【主な意見】

- 鉄道は各駅にエレベーターがあり、目の見えない人には駅員さんが誘導したり、分からないときは質問すると丁寧に教えてくれるようになった。
- 高田駅や春日山駅などは手すりやスロープがあり、様々な人達が利用しやすい環境になっていると思う。
- 鉄道や路線バスでは駅員さんやドライバーさんが手助けしてくれるイメージがある。快適に過ごせるのではないかなと思う。
- 路線バスは乗り降りの際の階段ステップが上下するのを見たことがある。
- 介護タクシーはありがたいです。ハイヤーもシニアパスポート等の割引があって良い。

⇒「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方は、どうすればよくなるとお思いますか。(回答数：357件)

【主な意見】

- 上越市は高田と直江津という都市部と周辺の広大な山村、漁村部が合併してできた市。もっともっと周辺部の公共交通機関を拡充しても良いかなと思う。その場合、決まったダイヤで運行する都市部の公共交通機関とは別の運行方法が必要かなと思う。
- 路線バスのルート、本数が少ない。サイズを小さくして、台数を増やす。
- ノンステップバスなどを充実させてほしい。
- 車いすを使用した人が段差等安全に乗り降りできる様になればよくなると思う。
- バス停で待っている高齢者や障害者の方をよく見るが、屋根などの雨除けがあれば良いと思う。
- 無人駅が多いので、一人で利用する場合に困る。小さい駅でもバリアフリー化した方が良いのでは。
- 高齢者、障害者は特に歩行が困難な人が多く、補助者が必要な人もおり、まず自宅までの送迎車の手配と、いつでも利用できるようなシステムを作り、誰もが便利よく利用できるようにする。ボランティアの人達を募り、協力できるように方法を考える。
- 運転免許証返納後の不便が大きい。病院や商業施設等に行く利便性の良い小回りの利く代替公共交通機関の設置を望む。
- 公共交通は決められた時間で動くため使用できていない。乗合バス等ができればよいと思う。

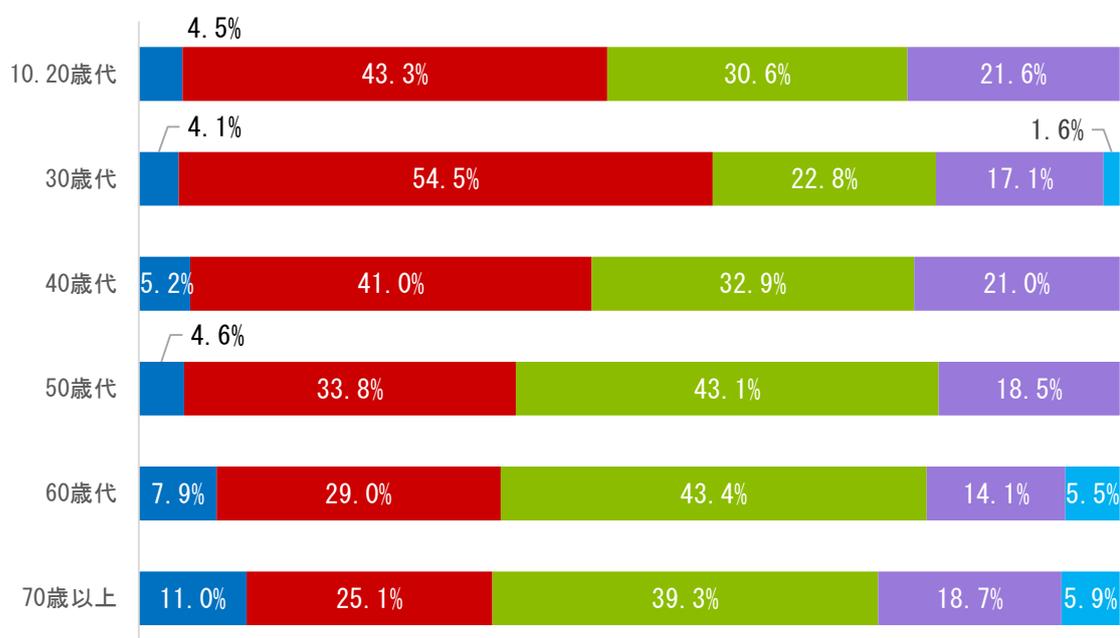
問13 あなたは、ボランティアをしたことがありますか。

- 定期的・継続的にボランティアをしたことがある（している）
- 単発的なボランティアをしたことがある
- したことはないが、ボランティアに興味・関心はある
- したことはないし、ボランティアに興味・関心もない
- 未回答

●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「ボランティアをしたことがある（している）」と答えた人は合わせて 41.2%で、前回の 35.6%より 5.6 ポイント増加した。
- ・一方で、「したことはない」と答えた人は合わせて 55.7%で、前回の 61.4%よりも 5.7 ポイント減少している。
- ・「したことがある人」と「関心がある人」を合わせると、全体の 78.7%の人がボランティアに興味を持っているが、実際にしたことがある人はその半数に留まっている。
- ・「したことがある」、「関心がある」と答えた人の年代別の割合では、年代別では、30歳代が最も多く、次いで 10.20歳代、40歳代となっており、若い世代が多い結果となっている。

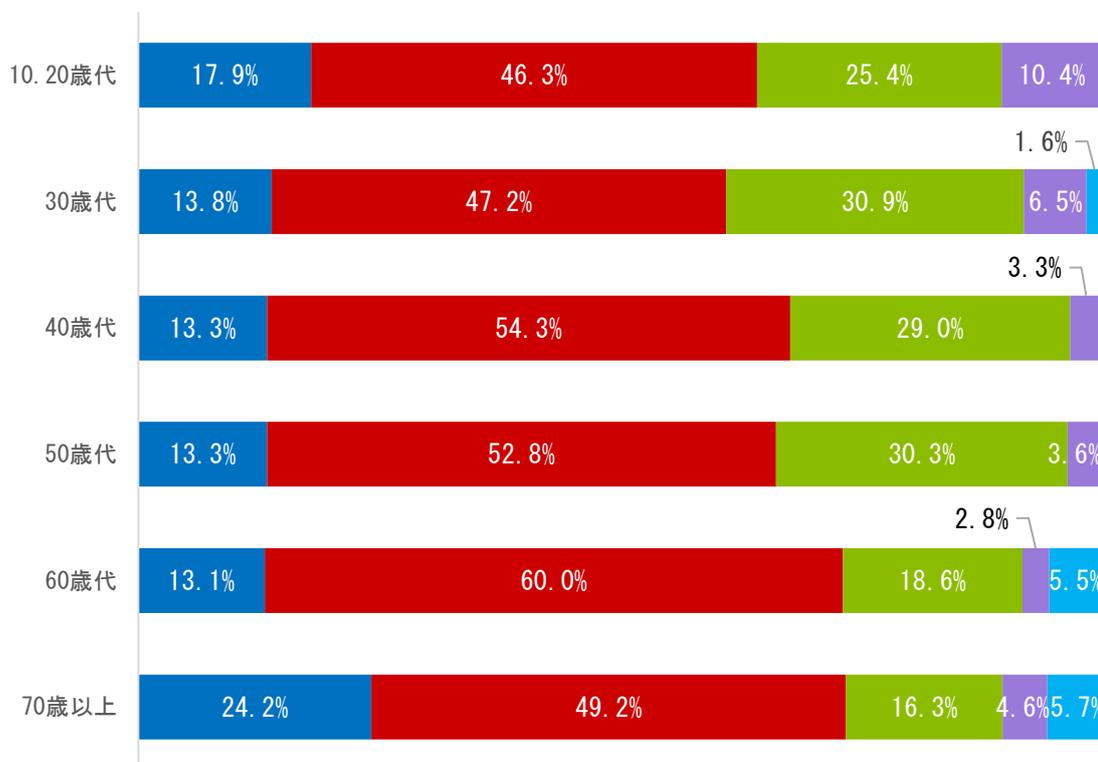
問14 あなたは、災害時にどのように行動すればよいか知っていますか。



●全体



●年代別比較



【結果】

- ・「知っている」、「どちらかといえば知っている」と答えた人は合わせて69.5%で、前回の73.6%より4.1ポイント減少した。
- ・一方で、「知らない」、「どちらかといえば知らない」と答えた人は合わせて27.3%で、前回よりも3.6ポイント増加している。
- ・年代別では、大きな差は見られなかった。

上越市第5次人にやさしいまちづくり推進計画

誰もが安全・安心で快適に暮らせるまち

(令和4年3月策定)

発行 新潟県上越市

編集 上越市自治・市民環境部共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号

電話 025-526-5111(代表) FAX025-526-6111